



多世代のニーズに対応し、もっと便利な公共交通へ ラストワンマイル需要調査・夜間バス実証運行を実施

宗像市民の移動手段は自家用車が中心で、公共交通の利用者は減少傾向です。高齢者層ではバスの利用方法に不安を感じて利用が進まない、働く世代では仕事終わりの時間帯に公共交通がないなど、世代ごとの課題も存在します。また、公共交通は脱炭素社会の実現に欠かせない手段のひとつでもあります。

そこで本市では、「地域の宝である公共交通を守るのは、地域で生きる私たちである」をスローガンに、様々な視点からの利用促進事業を実施しています。今年度は、今後の地域公共交通を維持していくための事業検討を目的として、各世代の移動ニーズに応じた事業を展開します。

【高齢者向け利用促進事業】

ラストワンマイル交通需要調査

自宅から駅やバス停までの「ラストワンマイル」の移動手段を確保するために、ラストワンマイル需要の多い地域や高齢者の公共交通に対するニーズを把握し、公共交通の利用促進、生活の質の向上に係る効果と課題を検証するための需要調査を実施します。調査協力への申請をすると、地域公共交通利用券（500円のアンケート付きタクシークーポン）を交付します。

期 間：第1期=6～10月 第2期=11月～令和7年3月

対 象：運転免許証を保有していない70歳以上の市民（1期あたり1,000人を募集）

高齢者向けバスの乗り方教室の開催

バス利用者のうち、約8割が70歳以上の高齢者です。免許返納後の高齢者の移動手段はバスなどの公共交通となりますが、「乗り方」「使い方」などバスでの外出に不安を感じるという声もあります。

公共交通の乗り方・使い方の周知と体験を行う教室を開催し、高齢者の移動問題の解消を目指します。

具体的な実施日は決定次第、別途お知らせします。

【働く世代向け利用促進事業】

夜間バス「ラピコ（ラピッド・通勤）」の実証運行

通勤や通学、通塾などで移動需要が多い時間帯（19時～22時）に公共交通手段がない人口集中地区の住宅地で赤間駅北口発の夜間バスを実証運行します。

運行日時：5月20日（月）～8月9日（金）（土日祝日除く）の19、20、21時台に各1便

料 金：一般200円、割引対象者100円

運行ルート：赤間西地区、河東地区の10バス停

【全世代向け利用促進事業】

バスロケーションシステムの導入

市ふれあいバス、コミュニティバスの所在地をオンライン上で「いつでも」「どこでも」簡単に調べることができるシステムを、九州産業大学と連携し、5月1日（水）から導入します。

【問い合わせ先】

宗像市都市再生部 都市再生課（担当：小田・江本）TEL：0940-36-9777